

工 事 番 号		部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者
設計年度	令和 5 年度	<p style="text-align: center;">船木防災公園整備工事（4工区）</p> <p style="text-align: right;">仕様書</p> <p style="text-align: center;">公園整備事業</p> <p style="text-align: center;">三原市本郷町船木</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;">交付金</div> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">仕様書</div> </div>					
施工年度							
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
<p>薄層カラー舗装 A= 300 m2</p> <p>区画線工 L= 92 m</p> <p>張りコンクリート工 A= 34 m2</p> <p>メッシュフェンス L= 72 m</p> <p>道路反射鏡設置工 N= 1 基</p>							

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 船木防災公園整備工事（4工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和5年7月）広島県**※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第5節 情報共有システムに従うこと。

第3節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事であり、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第12節 熱中症対策に資する現場管理費の補正に従うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-1-19 建設副産物「4. 再生資源利用計画」、「5. 再生資源利用促進計画」及び「6. 実施書の提出」によらず、次のとおり取り扱う。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
受注者は、再生資源利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
 - (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
 - (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
 - (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
 - (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
 - (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
 - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
 - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
 - (4) 建設発生土の搬出量
 - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

第5節 現場代理人の常駐義務の緩和

特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第3節 現場代理人の常駐義務の緩和に従うこと。

第6節 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者

- 1 土木工事共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」によらず、次のとおり取り扱う。
一般土木工事（建築一式工事以外）の契約約款第10条第1項第2号の規定により配置する主任技術者又は監理技術者は次によるものとする。
 - (1) 下請契約金額の総額が4,500万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合は、監理技術者を配置する。
 - (2) 請負代金額4,000万円以上の場合、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について技術者を専任配置する。
 - (3) 請負代金額が500万円以上4,000万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合は、一般建設業・特定建設業を問わず全業者について配置する技術者が、兼務する工事件数（請負代金額が500万円以上4,000万円未満）は、この工事を含めて5件までとする。
- 2 土木工事共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「6. 誓約書」によらず、次のとおり取り扱う。
「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」には、次の各号に定める誓約書を添付しなければならない。
 - (1) 請負代金額が4,000万円以上、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、他の工事の主任技術者又は監理技術者として配置していない旨の誓約書
 - (2) 請負代金額が500万円以上4,000万円未満、又は設計図書等において特に定めた場合
配置する主任技術者又は監理技術者について、次の[1]又は[2]に掲げる主任技術者又は監理技術者若しくは現場代理人として現在5件（本件工事は含まない。）以上の工事に配置していない旨の誓約書

[1] 500万円以上4,000万円未満（建築一式工事については、1,500万円以上8,000万円未満）の建設工事の主任技術者又は監理技術者
[2] 災害復旧工事以外の工事の現場代理人

第2章 材料

第1節 薄層カラー舗装

- 1 受注者は、この工事に使用する薄層カラー舗装の製品選定においては、次に示す基準を満足する製品から選択し、品質規格証明書等により事前に監督職員の承認を得ること。
(選定基準)ストリートボンド同等品
 - ・すべり抵抗地（BPN）：乾燥時75以上、湿潤時65以上
 - ・密度：1.05 g/ml以上
 - ・加熱残分：50%以上
 - ・乾燥時間：3時間以内
 - ・耐摩耗性：1000mg以下
 - ・透水性：300ml/15s以上
 - ・耐水性・耐アルカリ性・耐候性：異常なし
- 2 カラーについては、色見本提出の上事前に協議を行うこと。

第3章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限

施工内容	薄層カラー舗装、区画線工
時期	全工事期間
時間	8：00～17：00（作業可能時間）
施工方法・理由	県道作業実施時は、片側交互通行で行うこと。

第2節 サイン

- 1 サインデザイン
 - ・現地サインの寸法を確認し、施設及び施設の使用方法など必要な情報を入れてデザインすること。
 - ・サインデザインについて、各サインデザイン案を3パターン程度提示し監督員と協議すること。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
県道作業期間中、交通誘導警備員2（人/日）配置を見込んでいる。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

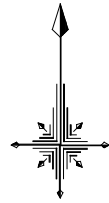
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
基盤整備		式	1	レベル1
公園土工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
床掘り		m3	20	レベル4
埋戻し		m3	20	レベル4
法面工		式	1	レベル2
防草コンクリート		式	1	レベル3
張りコンクリート	18-8-20BB Co厚さ70mm	m2	34	レベル4
施設整備		式	1	レベル1
園路広場整備工		式	1	レベル2
アスファルト系舗装工		式	1	レベル3
公園アスファルト薄層カラー舗装	ストリートボンド相当品	m2	300	レベル4
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線	矢印・記号・文字_15cm換算 排水性舗装無	m	92	レベル4
サービス施設整備工		式	1	レベル2
サイン施設工		式	1	レベル3
サインデザイン印刷貼付け	W1800×H900 2基 W1200×H900 3基	式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
管理施設整備工		式	1	レベル2
柵工		式	1	レベル3
フェンス	メッシュフェンス H=1000 ビーム式・パネル式 [規]100m未満	m	72	レベル4
反射鏡工		式	1	レベル3
カーブミラー	ステンレス 800 二面	基	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	防草コンクリート t=7 cm	m3	0.1	レベル4
舗装版切断	防草コンクリート t=7 cm	m	4	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻	m3	0.1	レベル4
殻処分	コンクリート殻	m3	0.1	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	4	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				

計画平面図

図面番号	1 / 1	縮尺	1:500
工程			
種別	計画平面図	番号	1 / 1
路線名	船木防災公園		
河川	三原市本郷町船木		
工事箇所	三原市		



S=1 : 500

0 10 20 30 40 50m

横断歩道 薄層カラー舗装 A=9.00m²
ストリートボンド相当品

区画線 文字 (歩行者注意) L=31.0m
薄層カラー舗装 A=21.0m² ストリートボンド相当品

区画線 文字 (減速) L=61.0m



サインデザイン印刷貼付け N=5箇所

メッシュフェンス L=72.0m H100

道路反射鏡 2面鏡 N=1基
防凍コンクリート復旧 A=1.3m²

多目的広場

薄層カラー舗装 A=270.0m²
ストリートボンド相当品

防凍コンクリート A=32.0m²

※薄層カラー舗装の色は参考色のため別途協議すること。

参 考 資 料

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.07.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 09 公園工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
基盤整備					Y1H01 レベル1
公園土工	1	式			Y1H0102 レベル2
作業土工	1	式			Y1H010201 レベル3
床掘り	1	式			Y1H01020101 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK22040015 00
埋戻し	20	m3			単第0 -0001 表 Y1H01020102 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK22040020 00
法面工	1	式			単第0 -0002 表 Y1H0104 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防草コンクリート	1	式			Y1E010109 レベル3
張りコンクリート 18-8-20BB Co厚さ70mm	34	m2			Y1E01090803 レベル4
コンクリート打設工 防草コンクリート Co厚さ70mm 18-8-20BB	34	m2			S1040011 00 単第0 -0003 表
施設整備	1	式			Y1H03 レベル1
園路広場整備工	1	式			Y1H0305 レベル2
アスファルト系舗装工	1	式			Y1H030506 レベル3
公園アスファルト薄層カラー舗装 ストリートボンド相当品	300	m2			Y1H03050602 レベル4
薄層カラー舗装 ストリートボンド相当品	300	m2			W0001
区画線工	1	式			Y1H030515 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
溶融式区画線 矢印・記号・文字_15cm換算 排水性舗装無	92	m			Y1H03051501 レベル4
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	92	m			SDT00001 00 単第0 -0004 表
サービス施設整備工	1	式			Y1H0308 レベル2
サイン施設工	1	式			Y1H030807 レベル3
サインデザイン印刷貼付け W1800×H900 2基 W1200×H900 3基	1	式			Y1H03080701 レベル4
【経費対象外】					#0046
サインデザイン印刷貼付け デザイン・パネル製作込	1	式			W0001
管理施設整備工	1	式			Y1H0309 レベル2
柵工	1	式			Y1H030906 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
フェンス メッシュフェンス H=1000 ビーム式・パネル式 [規]100m未満	72	m			Y1H03090601 レベル4
横断・転落防止柵 PCブロック建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 プレキャストCoブロック建込	72	m			SS000143 00 単第0 -0005 表
反射鏡工	1	式			Y1H030910 レベル3
カーブミラー ステンレス 800 二面	1	基			Y1H03091001 レベル4
道路反射鏡設置工 二面鏡 建柱及び鏡取付	1	基			S2080 00 単第0 -0006 表
鏡体 ステンレス 800 取付金具込	2	面			W0001
補助金具 二面取付用	1	組			W0001
構造物撤去工	1	式			Y1H0312 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1H031205 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し 防草コンクリート t=7 cm	0.1	m3			Y1H03120501 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.1	m3			SDT00031 00 単第0 -0007 表
舗装版切断 防草コンクリート t=7 cm	4	m			Y1H03120502 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	4	m			SPK22040303 00 単第0 -0008 表
運搬処理工	1	式			Y1H031215 レベル3
殻運搬 コンクリート殻	0.1	m3			Y1H03121501 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし D1D区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0009 表
殻処分 コンクリート殻	0.1	m3			Y1H03121502 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	0.2	t			W0001
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	4	人			R0369 00
交通誘導警備員B	4	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

施工単価表

床掘り

SPK22040015

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 21.91%

労務構成比: 70.90%

材料構成比: 7.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,000.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	21.91%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.51%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.19%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し

SPK22040020

単第0 -0002 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 10.54%

労務構成比:

85.61%

材料構成比:

3.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,539.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	9.89%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.65%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.61%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		

施工単価表

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字_15cm換算

SDT00001

単第0 -0004 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	115.500	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0008 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

44.29%

材料構成比: 50.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	3.39%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	48.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.54%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0009 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,203.10000

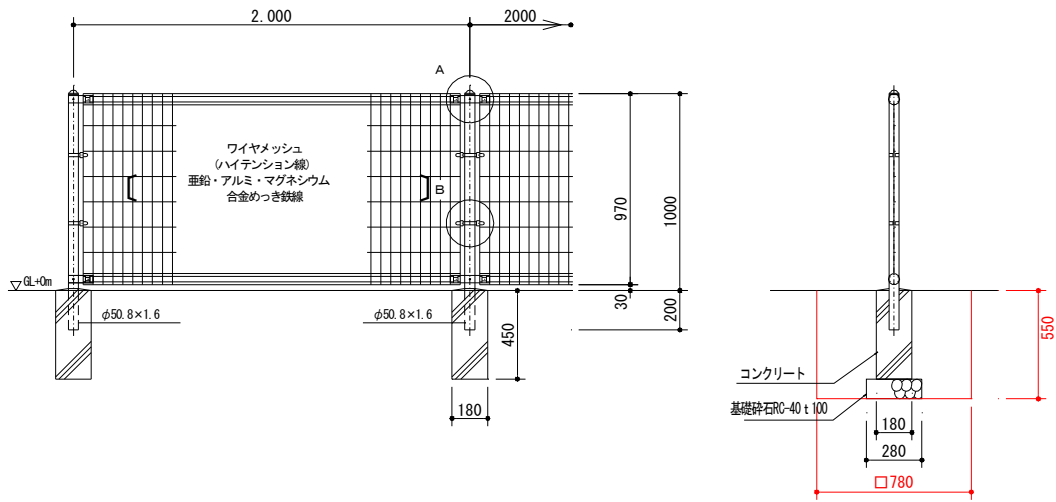
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

構造物作業土工

数量集計表

種 別	設計数量	単位	単位当りの数量				掘削量 (m3)	埋戻量 (m3)	残土量 (m3)	基面整正 (m2)
			床堀量 (m3)	埋戻量 (m3)	残土量 (m3)	基面整正 (m2)				
管理施設整備工										
転落防止柵	72.0	m	0.20	0.19	0.01		14.4	13.7	0.7	0.0
道路反射鏡	1.0	基	1.60	1.30	0.30		1.6	1.3	0.3	0.0
張コンクリート	33.7	m2	0.032	0.00	0.032		1.1	0.0	1.1	0.0
計							17.1	15.0	2.1	0.0

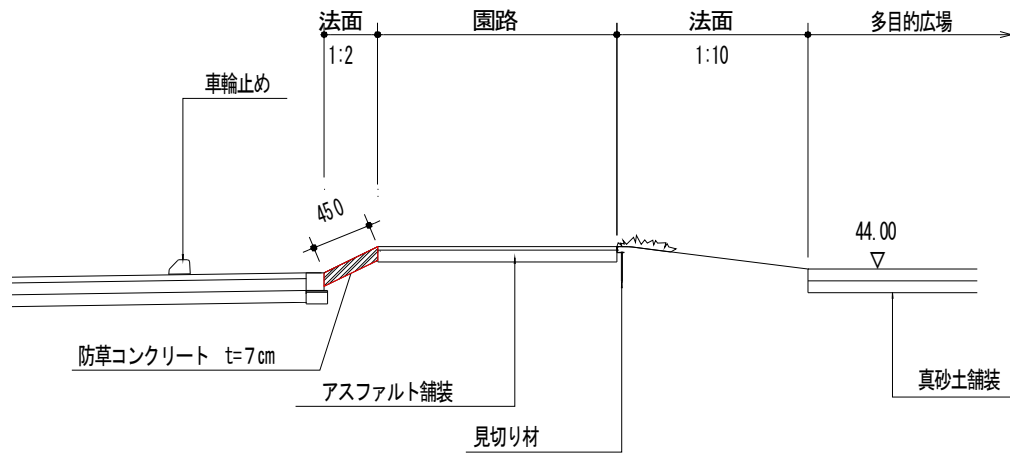
種 別	転落防止柵	単 位 数 量 計 算	10m 当り
-----	-------	-------------	--------



基礎数N=6個

名 称	規 格	算 式	数 量
掘削		$V = (0.78 \times 0.78 \times 0.55) \times 6 = 2.008$	2.0 m ³
埋戻		$V = 2.0 - (0.05 + 0.09) = 1.868$	1.9 m ³
残土		$V = 2.0 - 1.9 = 0.1$	0.1 m ³
基礎碎石	(RC-40)	$A = 0.28 \times 0.28 \times 6 = 0.470$	0.5 m ²
		$V = 0.28 \times 0.28 \times 0.1 \times 6 = 0.047$	0.05 m ³
転落防止柵-1	@2000×H1200	$L = 10.000$	10 m

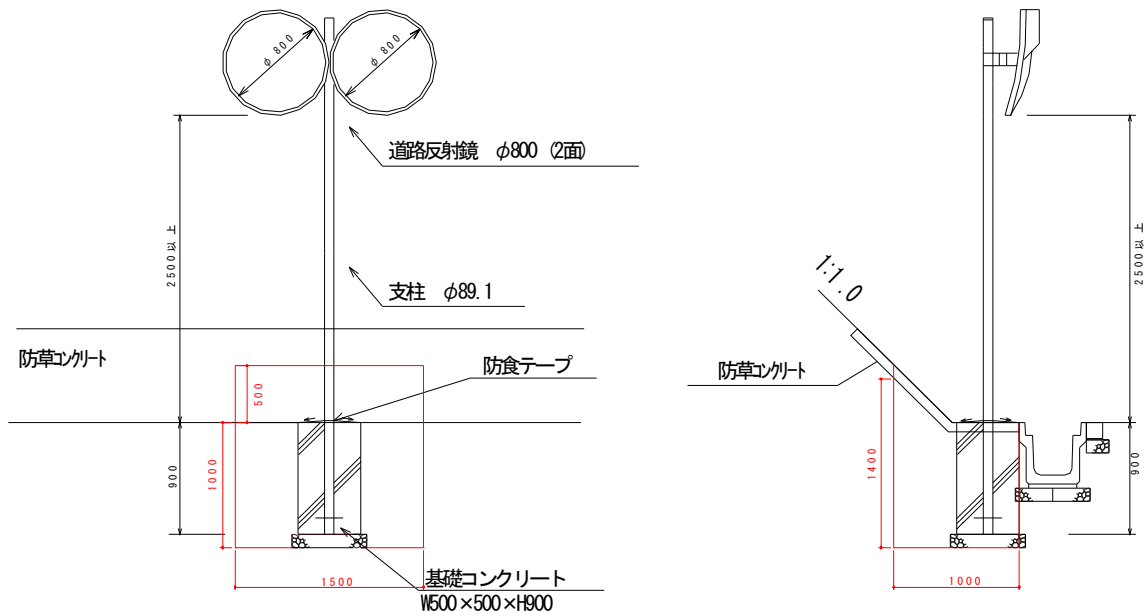
種 別	張コンクリート	単 位 数 量 計 算	100m2 当り
-----	---------	-------------	----------



名 称	規 格	算 式	数 量
掘削		$V = 0.45 \times 0.07 \times 100 = 3.150$	3.2 m ³
埋戻		$V = \text{---} = 0.0$	0.0 m ³
残土		$V = 0.45 \times 0.07 \times 100 = 3.150$	3.2 m ³
コンクリート		$V = 0.45 \times 0.07 \times 100 = 3.150$	3.2 m ³
張コンクリート	t 70	$A = \text{---} = 100.000$	100 m ²

種 別	道路反射鏡	単位 数量計算	1基当り
-----	-------	---------	------

参考構造図

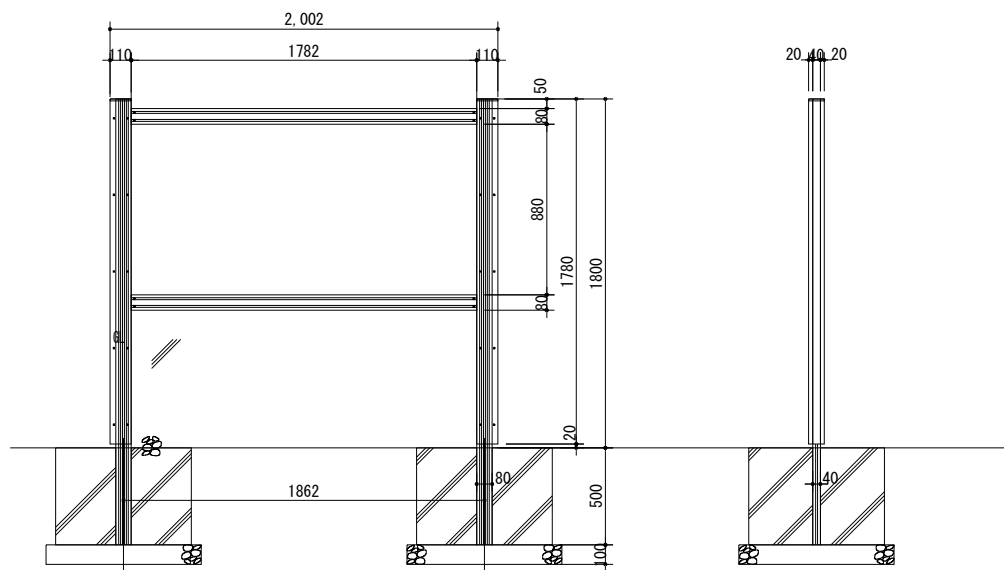


名 称	規 格	算 式	数 量
掘削		$V = (1.5 \times 1.0 \times 1.0) + (0.5 \times 0.5 / 2 \times 1.5) - (1.5 \times 1.0 \times 0.07) = 1.583$	1.6 m ³
		砕石分 Co基礎分	
埋戻		$V = 1.6 - (0.04 + 0.23) = 1.313$	1.3 m ³
残土		$V = 1.6 - 1.3 = 0.3$	0.3 m ³
基礎砕石	(RC-40)	$A = 0.6 \times 0.6 = 0.360$	0.4 m ²
		$V = 0.6 \times 0.6 \times 0.1 = 0.036$	0.04 m ³
張コンクリート復旧	t 70	$A = 1.5 \times 1.0 - (0.5 \times 0.5) = 1.250$	1.3 m ²
道路反射鏡	φ800 2面鏡 φ89.1	$N = 1.000$	1 基

図面番号	1 / 2	縮尺	図示
工程			
種別	施設詳細図(サイン)	番号	/
路線名	船木防災公園		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

サイン (1) 図示

平面図 1/20 (40)

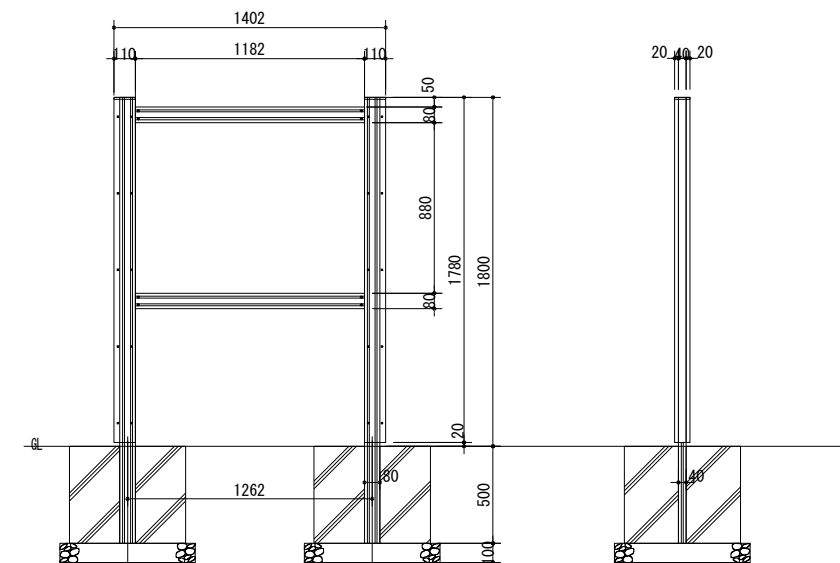


正面図 1/20 (40)

側面図 1/20 (40)

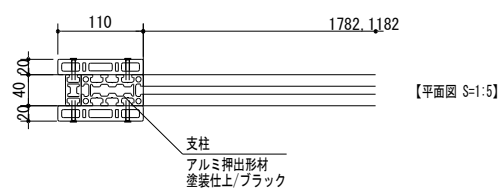
サイン (2) 図示

【平面図 S=1:20】

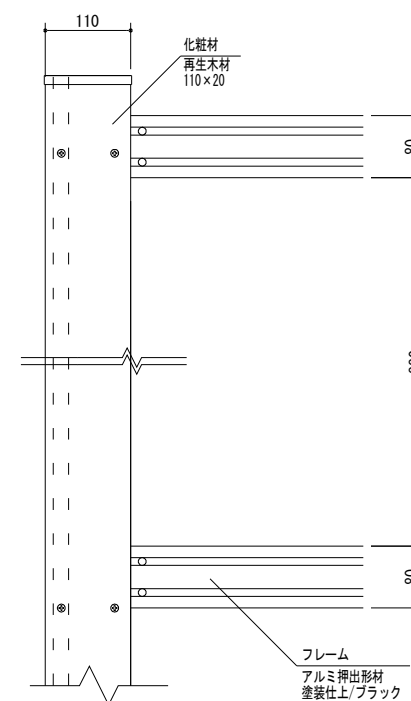


【正面図 S=1:20】

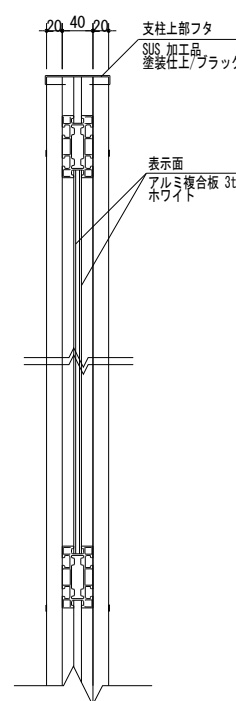
【側面図 S=1:20】



平面詳細図 1/5 (10)



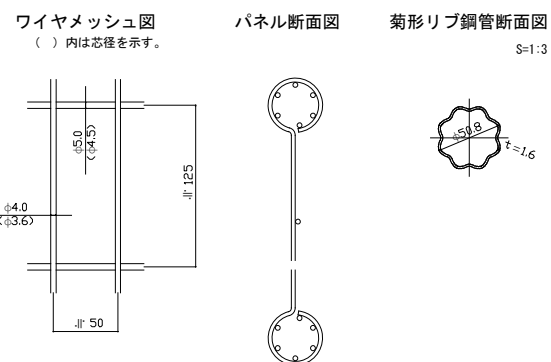
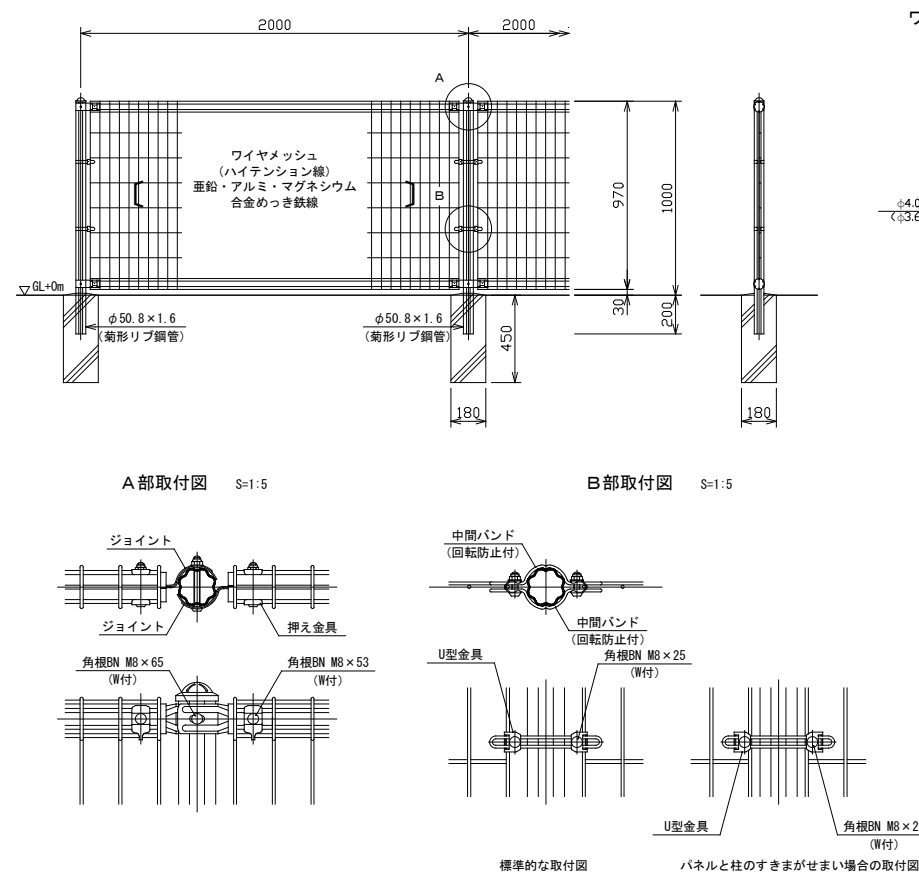
正面詳細図 1/5 (10)



側断面詳細図 1/5 (10)

図面番号	2 / 2	縮尺	図示
工程			
種別	施設詳細図	番号	/
路線名	船木防災公園		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

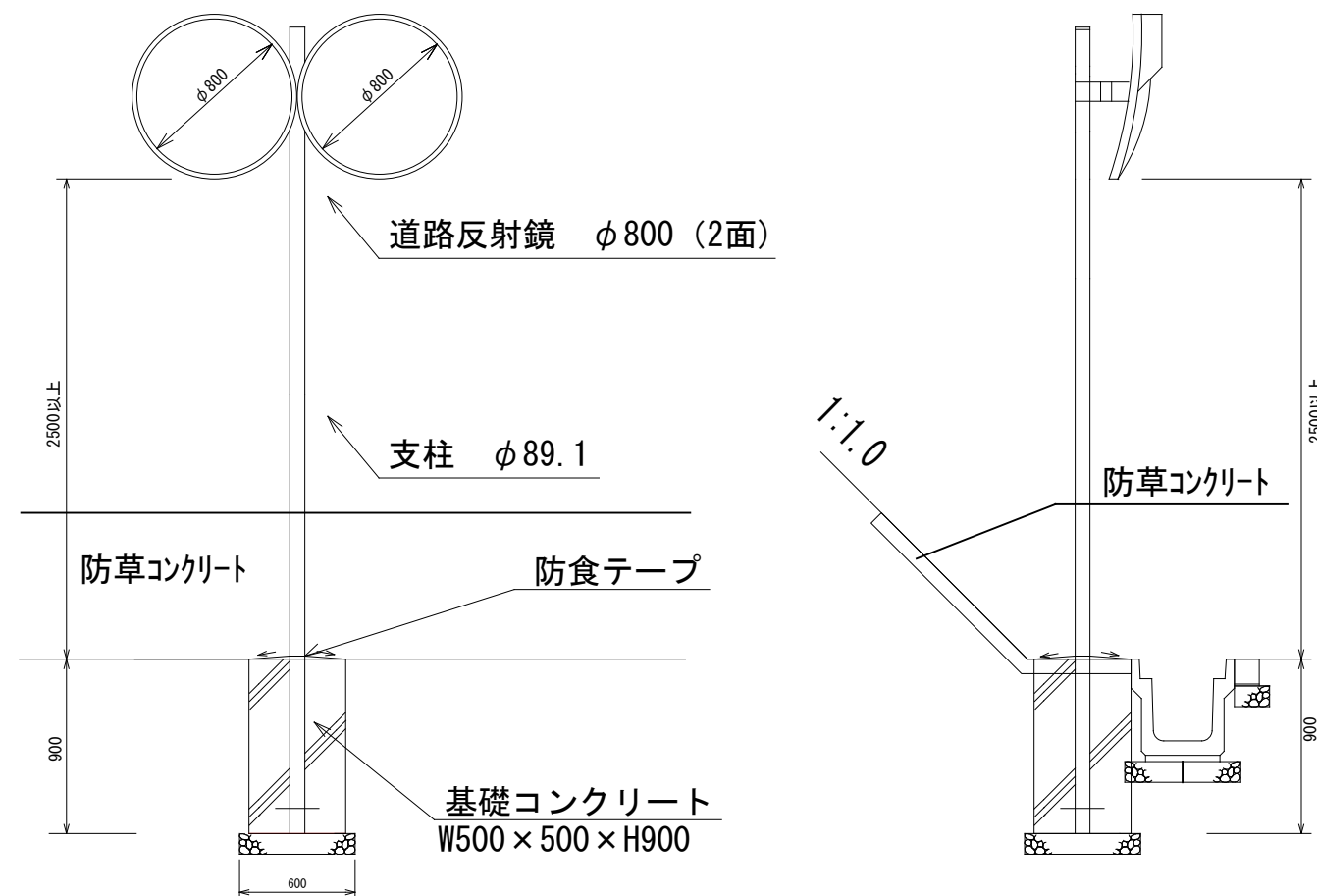
転落防止柵



設計条件
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
 1. 外装について
 ・支柱、ジョイント・・・垂鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 ・ワイヤメッシュ・・・垂鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 ・バンド・・・垂鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
 ・U型金具・・・垂鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
 ・ボルト、ナット・・・溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

道路反射鏡 2面鏡



位置図

